

若手監督官（石川労働局採用）インタビュー

Q. 労働基準監督官を志望した理由は？

【法文系区分採用】 令和8年4月 任官

身内が社会保険労務士をしており、労働関係の本が身近にたくさんあったので、興味を持ちました。

専門性も高い業務でありながら、事業所に立ち入り直接実態を確認するなど、現場に深くかわりながら労働者を直接的に守ることができるところに魅力を感じました。



Q. 労働基準監督官になって良かったと思うことは？

日々様々な業種の事業所を訪問し、多種多様な労働の環境を見聞きすることができるので常に刺激を得ながら働きつつ、自分の知識を広げることができます。

また、自分でスケジュールを組めることから、有給休暇を取得しやすい環境にあることも魅力の一つだと思います。

Q. 試験勉強はどのようにしていましたか？

私の場合は試験科目を大学で学んでいたわけでもなく、1から勉強する必要があったため、通信講座を活用しながら過去問、問題集をひたすら解いていました。

労働基準監督官の試験は選択問題が多く、前職を退職してからの勉強で時間もなかったため、選択する科目数を必要最低限に絞って勉強しました。

面接練習はハローワークの就職支援サービスを活用しました。